

認定看護師  
インタビューリレー  
《第22回》“困っている人の支えになりたい”この思いから  
新しいコミュニケーションは生まれます一看護師を目ざしたきっかけ  
は何ですか？

小学生から高校生にかけて野球をしていたので、お世話になったトレーナーの影響を受けてリハビリ分野に興味を持っていました。高校卒業後の進路について先生と話していた時、思いがけず「対話や意見の調整が得意なことを活かして看護師を目ざしたらどうか。」と勧められ、さらに「看護師として活躍している姿が目に見えよ。」と言われたことが最終的な決め手になりました。昔から、困っている人に何かをしてあげたいと思う気持ちが強かったようです。

一認定看護師への道はご自身  
で決めたそうですね。

はい。手術室を9年、病棟を1年経験した後、手術室に戻ったタイミングで手術看護分野認定看護師になることを志願しました。きっかけは、新人看護師を指導する時に、人によって説明が異ならないように、統一した考えや根拠のある説明が出来れば良いと思ったことです。また、専門知識を職場に持ち帰り共有したいという気持ちもありました。

一手術室勤務でのやりがい  
について教えてください。

患者さんと関わる機会が少ないからこそ、一瞬一瞬の関わりに注力することを心掛けています。退院後のQOL向上や合併症リスクの低減

などに思いを巡らすと、患者さんとそのご家族はもちろん、職員とのコミュニケーションはとても大切なことです。病棟を経験した上で、手術室ならではの看護があることに気が付き、とてもやりがいを感じています。

一若手看護師に向けて  
メッセージをお願いします。

看護師は覚えることが多く大変ですが、基本を念頭に置き、役目を実践していけば着実に成長していけます。手術室希望ではなかった人は、モチベーションを上げるための工夫を取り入れると良いですね。



谷口 勇気 氏

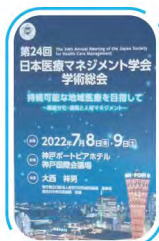
和歌山県立医科大学附属病院  
手術看護認定看護師14期生

私の場合は、術前・術後訪問で、あの時、あの看護が出来たから合併症が起きなかったんだ。と思えるエピソードを増やし仕事の糧にしていました。結果として、患者さんに”ありがとう”と言ってもらえることがやりがいに繋がってくると思います。  
(聞き手: 出雲、朝永、西本)

## 第24回 日本医療マネジメント学会学術総会 in 神戸

## 働く環境の整備と効率的な手術室運営をめざして

2022年7月8日・9日の2日間、第24回日本医療マネジメント学会学術総会(会場:神戸ポートピアホテル・神戸国際会議場)が開



催されました。株式会社リブドゥコーポレーション(以下、リブドゥ)共催のラン

チョンセミナー「働く環境の整備と効率的な手術室運営をめざして」では、座長に足立洋子氏(兵庫県立がんセンター ゲノム医療・臨床試験センター 臨床試験管理課長)、演者に小倉里美氏(座間総合病院 手術室 科長)、篠木美和氏(座間総合病院 手術室 主任)をお招きし、様々な業務課題に対する取り組みやその効果

についてご講演いただきました。

具体例として、看護記録の簡易フォーマット化や遅出シフトの導入を行ったことで、超過勤務時間が月平均10時間から2時間減少し、術前訪問件数は724件から910件まで増加したと述べられました。そして、看護業務記録時間では2時間から30分まで短縮できた事例も報告され参



加者の関心を集めていました。最後は、今後も患者の安心・安全に繋がる体制づくりやスタッフのやりがい支援を目ざし、業務改善に取り組んでいきたいと締めくくられました。(村田)



# 日本手術看護学会 地区大会レポート

2022年6月25日に日本手術看護学会近畿地区大会が和歌山県民文化会館(和歌山県)で、2022年7月23日に日本手術看護学会四国地区

大会がレクザムホール(香川県)で現地開催され、リブドゥも企業展示会に出展しました。

今回のブースでは医療安全に着目したオリジナルキット構成品の「LivCURE(リブキュア)」シリーズを中心に展示しました。また、ノベルティ配

布の際にカプセルトイを配置し、来場者から何が出てくるか分からないワクワク感から注目の声が上がりました。併せて実施したヒヤリハットに関するアンケートでは、両地区合計で128名の方にご回答をいただき、ほとんどの施設

でヒヤリハット対策を講じられていました。特に針刺し・切創予防、体内遺残予防のカテゴリーで関心が高い結果となっており、今後もリブキュアを通じて医療安全の情報発信ができるように努めてまいります。(谷)

「リブキュア」は株式会社リブドゥコーポレーションの登録商標です。



四国地区大会

近畿地区大会

ヒヤリハット対策に関してどんなテーマの情報があったらいいですか？(複数回答可)



## TOPIC

### エコバッグはいつから始まった？

2015年の国連サミットで掲げられた「持続可能な開発目標(SDGs)」が注目される中、繰り返し使用できるエコバッグへの関心が改めて高まっています。そもそも、エコバッグはいつから日本に普及し始めたのでしょうか。

きっかけは1990年代のマイバッグ運動と言われています。エコロジeshopを手掛ける株式会社GAIAプロジェクト(現:株式会社がいあプロジェクト)の石橋正次氏が、当時ドイツで普及していた布製のエコバッグを輸入販売し、その後大手流通企業がそのあとを追う形で販売を開始しました。最初のブームとなったのは2008年頃で、デザインにこだわったものやセレブの愛用品に注目が集まりました。

2022年現在、無印良品やカルディーなど、身近なショップがエコバッグを販売しており、レジ袋有料化をきっかけに再注目されています。今後もエコバッグ市場から目が離せませんね。

弊社においてもまったく関わりがないわけではなく、お客様へ製品サンプルや資料などをお持ちする際、オリジナルの手提げ袋を使用しています。環境負荷低減の取り組みとして、使いやすさやデザイン性も追求しながら、持ち手や袋の素材を見直すことで、微力ながらSDGsへの貢献を行っていきたいと思います。(神山)

## Livedo CARE & CURE オンラインセミナー

施設・病院で働く皆さまのための講座

2022年4月より施設・病院で働く経営者、管理者や実務者の方に向けたオンライン講座サービスを開設しました。

オンラインなのでどこでも受講ができ、ライブ配信では質問も可能です。期間限定※で一部講座の見逃し配信も実施しております。すぐに実践できる介護や看護の知識と技術、また施設経営や教育指導など幅広い内容を学べます。

※講座開催の翌月曜日より2週間

受講プランを2パターンご用意しております

|         | 新 10月以降の全講座を受けたい方はこちら<br>【半年パック】お申し込み<br>あらゆる分野の講座を10月から全て受講できます。 | 特定の講座だけ受けたい方はこちら<br>【単発プラン】お申し込み<br>学びたい講座だけをピックアップして受講できます。 |
|---------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 受講料     | 初年度特別価格<br>13,000円(税込)<br>※口座振込のみ                                 | 初年度特別価格<br>1,500円(税込) / 1講座<br>※クレジットカード決済、口座振込              |
| 講座数     | 12講座 + 特典※                                                        | 1講座                                                          |
| お申し込み期間 | 2022年7月14日～<br>2022年11月12日まで                                      | 各セミナー開催日の<br>90日前～10日前まで                                     |

※特典 「施設経営における介護保険制度活用」のご視聴(5月18日開催分)  
配信期間:2023年1月9日～1月22日(2週間) 講師:白鷺大学 名誉教授 川瀬善美先生

#### 受講者の声

- とても接遇の勉強になりました。現場で活用したいと思います。
- 当日参加できませんでしたが見逃し配信があり講義を聴くことができてよかったです。

#### 今後の講座スケジュールなど 詳細はこちら

<https://www.refre.livedo.jp/livedoseminar/>

リブドゥ オンラインセミナー

